

令和２年度第５回社会教育委員の会議 議事録

令和２年度第５回清瀬市社会教育委員の会議が令和２年１２月１８日に開催された。出席委員、議事の概要は次のとおり。

- | | | |
|---|------|---|
| １ | 日 時 | 令和２年１２月１８日（金）午後３時３０分～４時３０分 |
| ２ | 会 場 | 生涯学習センターアミューホール |
| ３ | 議 長 | 高井正委員（議長） |
| ４ | 出席委員 | 島澤良次委員（副議長）、齊藤しのぶ委員、西田由美子委員、
松山鮎子委員、菊地俊一委員 |
| ５ | 欠席委員 | 田中金子委員 |
| ６ | 事務局 | 綾乃扶子（生涯学習スポーツ課長）
岡部剛（生涯学習係長）、若林幹輝（生涯学習係主事） |

１ 開会

高井議長：第５回社会教育委員の会議の開会を宣言

事務局：資料の確認

（高井議長）

時間配分の関係で、まずはその他の報告を先にお願ひし、そのあと生涯学習方針について話し合いたい。

２ 報告

（報告１）清瀬フロイデハルモニーへの補助金交付について

（事務局）

新型コロナウイルス感染症の影響でコンサートが中止となったことから、打ち合わせに伴う会議室代 900 円の申請があったので報告を行う。

（高井議長）

このことについては、前回の会議で闊達な意見を頂いた。

報告のとおり進める形でよろしいか。

異議なし

(報告2) 令和3年清瀬市成人記念式典について

(事務局)

～資料を元に説明～

市のホームページで映像を公開予定。内容は市長、議長、教育長のお祝いの言葉と恩師から新成人へのお祝いのメッセージを公開。

～社会教育委員の皆様への成人式当日の依頼内容について説明～

集合時間はけやきホールロビーに8時50分集合 14時ごろ終了予定。

各委員の当日の動きの詳細については後日お伝えする。

3 議題

(1) 清瀬市生涯学習基本方針の策定について

(高井議長)

では、議題に戻り、清瀬市生涯学習基本方針について話し合いたいと思う。

最初に、お手元に配布した「としま学びスタイル発見カタログ」の説明を行う。

～高井委員より説明～

では、生涯学習方針について話したいと思う。

前回からの修正点について事務局の方から説明をお願いしたい。

(事務局)

～修正点を説明～

(松山委員)

前回よりだいぶ整理された印象である。

大事な点としては、地域をつくる、課題を解決するという理解をしている。この二つがどう結びつくかを書かれていると良い。

市民相互のつながりで、「つながり」という言葉で使われているが、基本方針では学習成果を地域で活かすという意味合いの使い方はどうか。つながりという意味が、人同士のつながりという意味と学習成果からのつながりという意味合いがある。

(高井議長)

P8のつながりづくりについて、学習した成果を生かす仕組みづくりとしているが、もっと幅広いつながりについて書いてあると良い。

(松山委員)

P2の体系図の意図はどのようなものか。

(事務局)

生涯学習の内容や概念について表すものとしての体系図である。

(高井委員)

図は注目されるものなので、みなさんの意見を伺いたい。

(松山委員)

個人学習は教育以外のものを指す部分もあるので、もっと工夫する必要がある。

(高井議長)

学校教育、社会教育、家庭教育、個人学習の四つが並列に並んでいるのが適切か再度よく考える必要がある。

P4の「Ⅱ本市における生涯学習を取り巻く現状と課題」の中に、適正配置や地域協働活動について盛り込むことも必要ではないか。

この部分では、現状と課題以外ものを盛り込むのもよいのではないか。

P5以降に世論調査を載せているが、生涯学習センターで活動している団体数など、世論調査以外のデータを記載するのもよいのではないか。

(松山委員)

P7の学びと育ちの循環型社会について、何が循環しているのかが分かりづらい印象となっていると感じた。

学習したことを地域づくりに活かすという意味もあると思います。

「③基本施策の方向性」の(3)学習した成果を生かす仕組みづくりと(4)地域連携や課題解決力の強化、の両方にボランティアの育成が入っているので、再度検討する必要があるかもしれない。

(高井議長)

皆様のご意見をメールなどで教えて頂き、1月に分科会を開き2月に答申を行いたいと思う。

4 閉会

次回 令和2年度第6回社会教育委員の会議の日程を当初令和3年2月15日（月）に設定していたが、令和3年2月8日（月）に変更したい旨の連絡を事前に行った。現在調整中であるため、決定し次第事務局から連絡させていただく。

以上